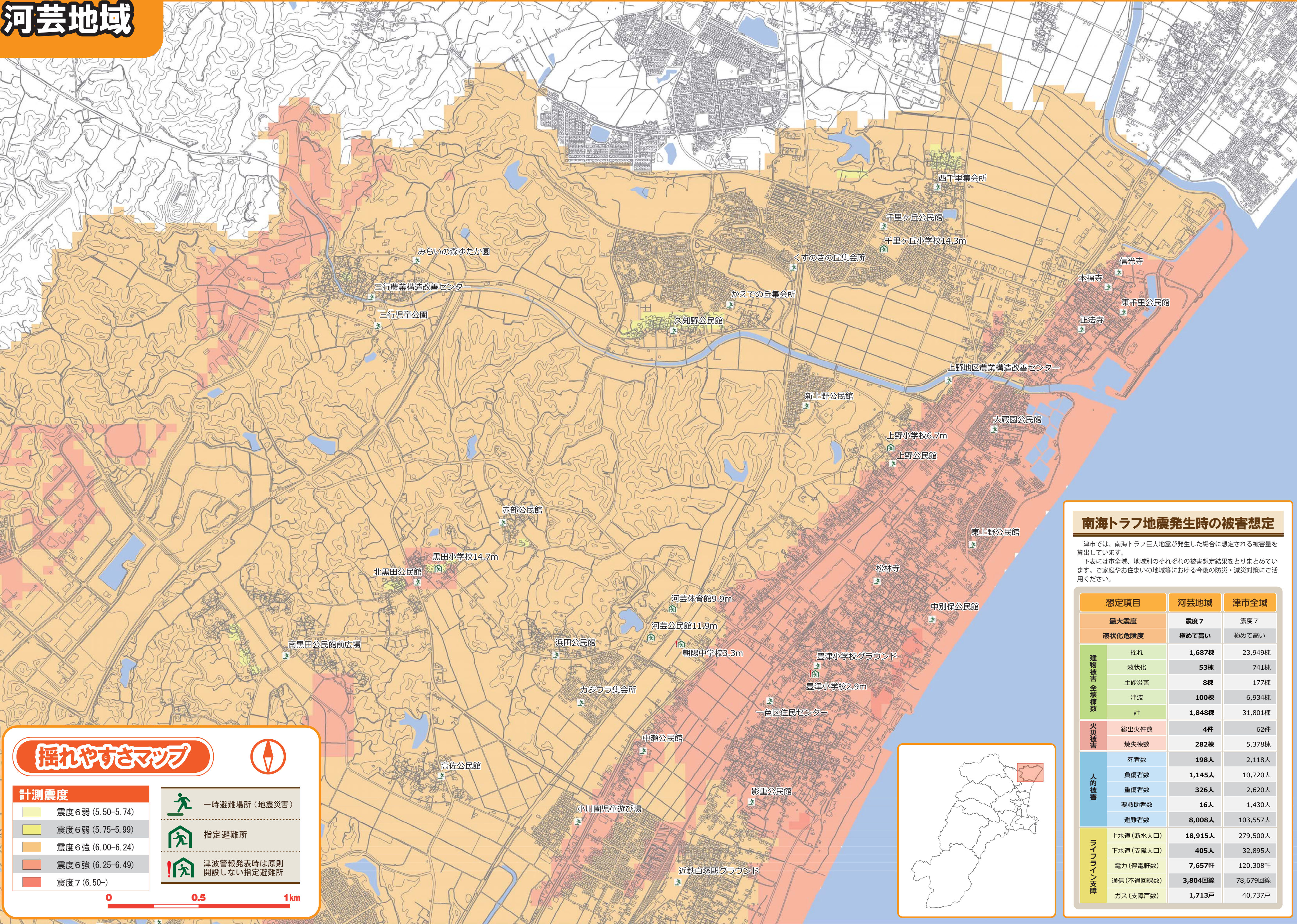
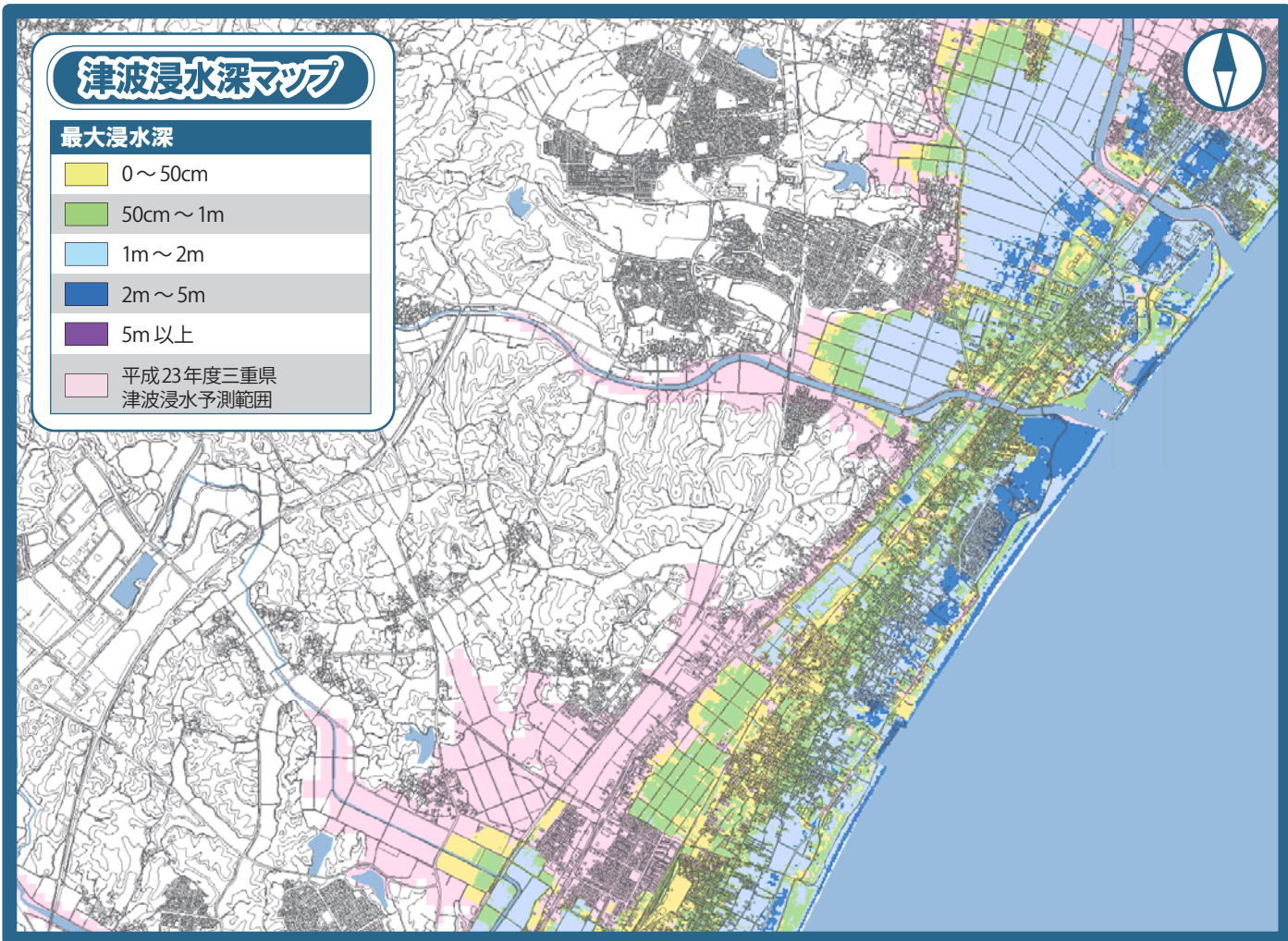


河芸地域



南海トラフ地震発生時の被害想定			
津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。 下表には市全域、地域別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめています。ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご活用ください。			
想定項目	河芸地域	津市全域	
最大震度	震度7	震度7	
液状化危険度	極めて高い	極めて高い	
建物被害 全棟数	揺れ	1,687棟	23,949棟
	液状化	53棟	741棟
	土砂災害	8棟	177棟
	津波	100棟	6,934棟
	計	1,848棟	31,801棟
火災被害	総出火件数	4件	62件
	焼失棟数	282棟	5,378棟
人的被害	死者数	198人	2,118人
	負傷者数	1,145人	10,720人
	重傷者数	326人	2,620人
	要救助者数	16人	1,430人
	避難者数	8,008人	103,557人
ライフライン被害	上水道(断水人口)	18,915人	279,500人
	下水道(支障人口)	405人	32,895人
	電力(停電軒数)	7,657軒	120,308軒
	通信(不通回線数)	3,804回線	78,679回線
	ガス(支障戸数)	1,713戸	40,737戸



- 津波避難の
ところえ
- 「避難は徒歩が原則」
家屋の倒壊や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるので、歩いて避難しましょう。
 - 「想定にとられない」
想定以上の災害が起こることもあります。想定にとられず、その時の状況を見極めることが大切です。
 - 「率先して避難する」
警報を出して率先して避難すれば、その姿を見て周りの人も避難するようになり、多くの人の命を救うことができます。
 - 「最善を尽くす」
命は大切です。これまでくれば大丈夫ではなく、その時できる最善の行動をしましょう。
 - 「地域での協力が大切」
お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて、一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。
 - 「河川に近づかない」
海から離れていても、津波は河川を遡ってやってきます。避難するときは、河川から離れる方向に避難をしましょう。
 - 「逃げ遅れたら、津波避難ビルへ」
いざというときに、どうしても遠くまで避難ができない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難協力ビル」に避難してください。

